

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月21日		記入者		内線	2733
部名	経済部	課名	農政課		課長名	阿部健
事務事業名	水田農業構造改革対策事業					
予算上の事務事業名	水田農業構造改革対策事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31520		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					事業開始年度
施策名	第2施策 特色ある都市農業の推進					平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
水田農業構造改革対策実施要綱（平成16年4月1日付け15生産第7999号農林水産事務次官依命通知）・米の数量調整実施要綱（平成16年4月1日付け15総食第825号農林水産事務次官依命通知）						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 指導・規制・許認可 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
県が決定した本市の米の生産目標数量に基づき、農業者に通知するとともに、水稻の作付状況を確認するもの。				水田の生産者		
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
4月30日 生産者に水稻生産実施計画書を送付 ～5月21日 生産者から水稻生産実施計画書の提出 7月上旬 現地確認の実施						
6 関連・類似事業や他市の状況						
各市町村においても同様の取り組みを実施。						
7 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	755	522	365	430	430	
一般財源	19	8	138	160	160	
受益者負担金			0	0	0	
その他の特定財源	736	514	227	270	270	
人件費の合計	2,797	2,670	2,690	2,690	2,690	
事業コスト合計(a)	3,552	3,192	3,055	3,120	3,120	
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）						
主たる事業名	水稻生産実施計画書の提出及び現地確認			対象名称(単位)	水田農家数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	3,552	3,192	3,055	3,120	3,120	
対象数	672	672	672	672	672	
単位あたり経費(円)	5,286	4,750	4,546	4,643	4,643	
前年度比		0.90	0.96	1.02	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	現地確認の実施		指標式と指標の説明	6地区（新戸・磯部・麻溝・望地・上田名・大沢）/ 実施回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	6.0	6.0	6.0		
目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	生産調整達成率		指標式と指標の説明	作付面積 / 作付目標面積（100以下で目標達成）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績			689810.0		
目標			724628.0	704628.0	700000.0
目標達成度			95.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		国の要綱に基づく事務のため、市の裁量の余地がない。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 特になし。			14 課題として認識されたこと 今後の水田のあり方を決めていくのは相模原市水田農業推進協議会（任意の協議会）の役割であり、市長の事務は生産者へ生産調整の目標の通知と現地確認事務に限定されている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			